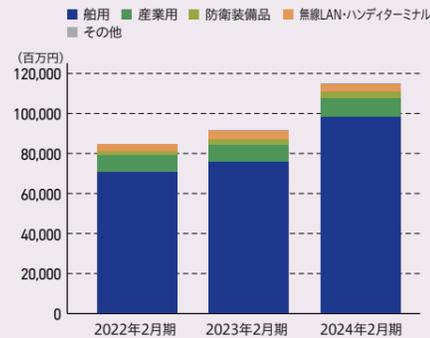


03

セグメント概要

事業概況

当社グループは、「安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現」を事業ビジョンに、お客さまや社会に貢献できる事業活動を目指しています。



セグメント別売上高構成比

船用 **86%**

- 主な製品: レーダー、魚群探知機、スキャニングソナー、AIS(船舶自動識別装置)、ECDIS(電子海図情報表示システム) ほか

産業用 **8%**

- 主な製品: ETC2.0/ETC車載器、GPS(GNSS)受信機、生化学分析装置 ほか

防衛装備品 **3%**

- 関連技術: 水中音響関連技術、GNSS関連技術 ほか

無線LAN・ハンディターミナル **3%**

- 主な製品: アクセスポイント、ハンディターミナル ほか



※構成比は2024年2月期売上高より算出(小数点以下切り捨て)

船用事業

関連するSDGs



1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、FURUNOはさまざまな航海機器、通信機器の開発に努め、お客さまのニーズに応じてきました。今では大型商船をはじめ、漁船向けや小型ワークボートなど、広範囲にわたるさまざまな船舶に、安全安心で効率化を支える機器・サービスを提供しています。

船用機器事業部長 矮松 一磨

商船向け事業



安全で効率的な航行のために

安全で効率的な航行への貢献を使命として、ヒト・モノを運ぶさまざまな商船に、各種航海機器・通信機器を提供。さらに、新造船向けのビジネスで築いたトップシェアの実績とグローバルネットワークを活かし、船舶のライフサイクルの維持管理を支援する事業を展開しています。

リベリア籍船の年次性能試験において、当社システムにてリモートでの遠隔実施が可能に



FURUNOが開発した船舶向けサイバーセキュリティ&リモートモニタリングプラットフォーム「HermAce(ヘルムエース)」

船舶に搭載した当社の航海機器や通信機器のデータをデジタルツイン(仮想空間に再現した複製)技術を用いてリアルタイムに陸上で収集・保存・監視するサービスです。

航海情報記録装置(以下、VDR)の年次性能試験(以下、APT)の代替手段としての「HermAce」利用は、以前よりパナマ籍およびマーシャル諸島籍の日本海事協会登録船で承認を取得していましたが、今回新たにリベリア主管庁においても承認されました。

VDRの年次性能試験APTは、有資格者(以下、エンジニア)によって毎年本船に訪問して動作と航海情報の記録を確認する必要がありましたが、船舶に「HermAce」が搭載されている場合においては、オンライン環境を使用して事務所からVDRのデータ抽出が可能となり、APTの代替手段となりました。このことにより、訪船による調整やエンジニアの訪船にかかる時間が低減でき、検査コストの削減が期待されます。

漁業向け事業



安全操業と水産資源の持続的な利用のために

創業以来、漁業の近代化や効率操業を支える漁業機器を提供してきました。これまで世界各国で培ってきた漁業コンサルティング力と革新的かつ市場に最適な製品・サービスの提供を通じて、資源管理型漁業の発展に貢献する事業を展開しています。

スマート漁業の実現に向けて

近年の海洋環境の変化により、漁業を取り巻く環境についての不透明感が強まっています。FURUNOは漁業のDX化を推進し、この不確実性に向き合っています。当社は、2023年に魚群探知機や潮流計から得たデータをDX化し、操業分析、人材育成、操業計画や資源把握の基盤となる船舶向けデータ収集システム「漁視™ダイアリー」の提供を開始しました。“データで見えないものを見る新たなステージへ”当社はこの潮流を牽引してまいります。



最新のスマートブリッジを搭載した漁船(トルコ)

プレジャーボート向け事業



安心で快適なボーディングのために

スポーツフィッシングボートやセーリングヨット、クルーザーなどプレジャーボートのユーザーに革新的かつ信頼性の高い製品を持続的に供給し、より安全安心で快適なマリナライフを提供するための事業を展開しています。

2023年度NMEA最優秀商品、最多6部門受賞 1971年から53年連続受賞

2023年度のNMEA(National Marine Electronics Association、米国海洋電子機器協会)において全18部門中6部門で最優秀商品賞を受賞しました。当社は、1971年度にNMEA最優秀メーカー賞「魚群探知機部門」を受賞して以来、53年連続で表彰されています。今回の受賞は、米国のプレジャーボート業界で高い評価を得ていることの証として大変な栄誉と受け止めるとともに、今後もマリナレジャーの多様なニーズに応じた事業展開と商品・サービスの提供を通じて、米国のみならず世界中の船用電子機器ユーザーの期待と信頼に応えてまいります。



ワークボート向け事業



海上業務の安全安心のために

官公庁船や港湾海洋・作業船などのユーザーに革新的かつ信頼性の高い製品を継続的に提供しながら、顧客の安全安心・快適に貢献する事業を提供しています。

官公庁をはじめ、これからの市場もFURUNOはサポート

海上における取り締まりや海難救助などを担う海上保安庁の巡視船艇や、港湾での監督および調査などの業務を担う港湾業務艇、将来の船員を育成する各教育機関の実習船や練習船など、多くの官公庁船にもFURUNO製品を採用いただいています。さらに、これから拡大する洋上風力発電市場で活躍する作業船やCTV(洋上風力発電設備向け作業員輸送船)の安全航海も、FURUNOは強力にサポートしてまいります。



出典：海上保安庁ホームページ

(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/soubi-yosan/sentei/ship.html>)

保守サービス向け事業



製品がお客さまのお役に立つことを保証するために

グローバルにまたがるサービスネットワークを活かし、世界最高水準の技術サービスと法定検査を適時・的確に提供し、いつでも製品が最高のパフォーマンスを発揮、維持できる事業を展開しています。

安心のグローバルサービス体制

全世界に顧客を持つ商船部門では、効率のよいサービスを提供するために、「SMS(Service Management System)」というオンラインシステムを導入しています。SMSはWeb上で閲覧できるデータベースで、製品サポート履歴や故障予防策、サービスの進捗や結果報告書などの情報をストックしています。問題点や気づきなどがあった場合は、営業やサービス部門、開発・品質部門へとフィードバックされ、品質の改善や業務品質の向上に役立っています。機器修理の依頼を受けた際は迅速に修理作業が行えるよう、各国で最適化したスペアパーツキットを備え、サービス需要に対応できる体制を整えています。

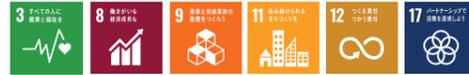


FURUNOのサービスネットワーク

産業用事業

〈ヘルスケア事業・GNSS事業・ITS事業〉

関連するSDGs



船用事業で培った技術を基に、ヘルスケア事業、GNSS事業（時刻同期・チップ&モジュール）、ITS事業（料金機械・ETC・動態サービタイゼーション）の3事業で構成され、情報通信分野などへ展開。人々が安全安心で快適な暮らしを実現するための機器・サービスを提供しています。

システム機器事業部長 延廣 幸雄

ヘルスケア事業



生化学自動分析装置・試薬

健康診断でも測定される血糖、中性脂肪、尿酸、γ-GTPなどのなじみ深い項目をはじめとして、100種類以上の項目を測定できる精密医療機器です。病気の診断や治療効果のモニタリング、未病の発見と、幅広い項目を幅広い用途で使用できる装置です。FURUNOでは、東南アジアにおいてFURUNOブランドの装置と試薬の組み合わせから得られる高品質な測定結果を提供することで、医療環境の向上に貢献しています。

GNSS事業

車載・産業用

V2X向けの高精度2周波GNSS受信チップ“eRideOPUS 9”の提供を開始しました。補正データなしで位置精度50cmDRMSを実現、自動車の安全性向上・交通事故の削減に貢献します。

時刻同期

2周波GNSS受信機が複数の世界的基地局ベンダーの5Gプロジェクトに選定され、2023年から納入を開始しました。世界最高水準の時刻精度と、都市部での精度劣化を抑える独自の技術にくわえ、L1信号が受信できない万一の事態が起きてもL5信号の受信でサービスを継続する堅牢性が高く評価されました。



ITS事業

ITS(Intelligent Transport Systems)による情報通信技術を駆使して、人、道路、車両をネットワークで結び、高速道路上での渋滞の解消など、社会課題に貢献します。

高速道路料金支払いの端末であるETC2.0/ETCの製造・販売に加え、ETC認証の技術を応用した車両入退管理サービスで物流の2024年問題への対応に寄与していきます。



防衛装備品事業

関連するSDGs



船用電子機器のコアテクノロジーであるセンサー技術・信号処理技術・情報通信技術を駆使し、防衛省向け水中音響機器・GNSS関連機器・デジタルマップ装置などの研究開発に努め、国民の安全安心につながる商品・サービスを提供しています。

航空・防衛事業部長 宮崎 健志

水中音響関連技術

FURUNOが手掛けてきた水中音響技術をベースに、独自の技術開発を進めてきました。当事業部では、現在、USV無人水上艇あるいはUUV無人潜水艦搭載を視野に入れ、いち早く機種の低消費電力化、小型軽量化および送受波器の高耐圧化に対する検討に着手し、それらの技術取得に成功したもものから順次製品への展開を図っています。



無線LAN・ハンディターミナル事業

関連するSDGs



無線通信技術を活かし、ネット接続の利便性を高める無線LANアクセスポイントや無線ネットワーク管理システムを提供しています。また、新たに利用可能になった無線規格のIEEE802.11ahを活用して、社会課題を解決する、IoT分野の通信システムとして展開していきます。

株式会社フルノシステムズ 代表取締役 中谷 聡志

IoTゲートウェイ対応11ahアクセスポイント

IEEE802.11ah対応のアクセスポイントは、920MHz帯の電波を使うことで半径約1km範囲での長距離通信が可能となります。この利点を活かし、農園や漁場、工場、自治体の河川見守りなどでの実証実験が進んでおり、社会インフラを支える役割が期待されています。



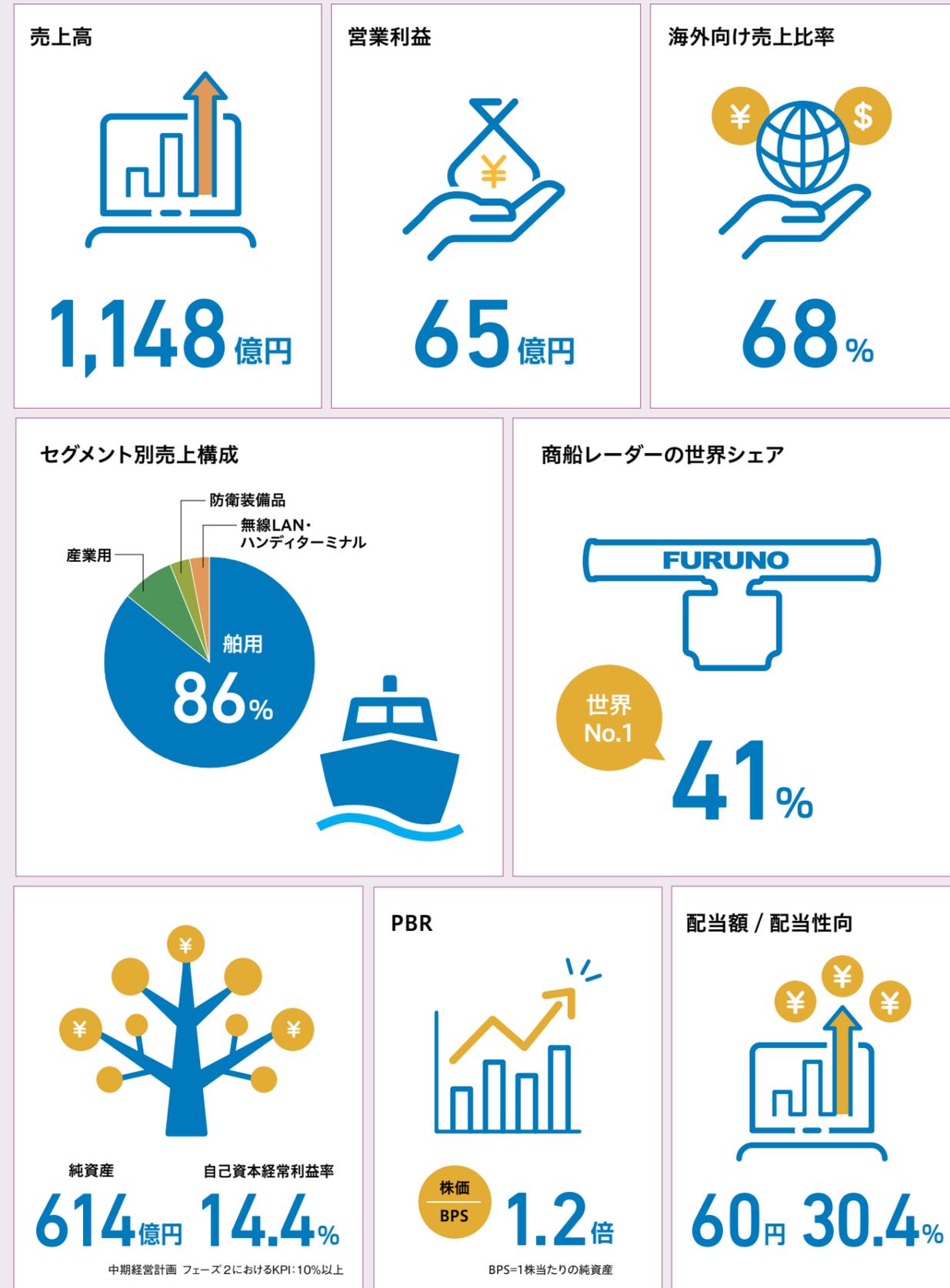
次世代ハンディターミナル finpad Ag1

ハンディターミナルは、バーコードを用いたデータ管理システムとして役立っていますが、これまで培ったノウハウ、ミドルウェア製品と新しいプラットフォームを融合することで、ブラウザを用いた業務システムとの連携やアプリケーション追加による機能の拡張など、お客さまの活用の幅を広げ、新たな価値を提供いたします。



2023年度 FURUNO At a Glance

財務データ



非財務データ

